



極望ステーの取付けは赤道儀によって異なります。赤道儀にステーを取付けるM6ネジ穴がある場合は、写真のM6ノブボルトで3つの穴のどれかで取付けます。ターンテーブルと雲台の間などに挟んで取付けることもできます。付属のカメラネジのノブナットを使うと、ターンテーブルなどのカメラネジに単独で取付けられます。

極望の前面を削って光軸合わせをしてあるので、奥までしっかり差し込んだ金色のノブネジで軽く止めてください。その際にスケールパターンと実際の星空の方向が合致するように極望を回転させて差し込みますが、回転角は北斗七星とカシオペヤの方向か、またはこぐま座β正の方向で定めます。内側の円に付いている小さな○に北極星を導きます。

南半球の場合は、南十字、アケルナル、カノーブスで回転角を定めて外側の円の☆マークにはちぶんぎ座σ星を導きます。